

JRA-VAN Data Lab.
Data Lab.データ検証ツール
説明書

2016年7月26日

第2.3版

JRAシステムサービス株式会社

目次



1	DATA LAB.検証ツール概要説明	2
1.1	ツールの目的	2
1.2	前提事項	2
2	インストール手順	3
3	操作手順	6
3.1	Data Lab.データ検証ツールの起動	6
3.2	画面説明	7
3.3	蓄積系データの取得	13
3.4	速報系データの取得	17
3.5	エディタの利用	28
4	JV-LINK および DATA LAB.データ検証ツールの 使用許諾について	31

1 Data Lab. 検証ツール概要説明

1.1 ツールの目的

本検証ツールは、JRA-VAN が提供するデータを検証する事を目的に提供しております。

本検証ツールには以下の機能があり、提供データの検証を行う事ができます。

- ・蓄積データ
 - ・データ取得機能
 - ・データ表示機能
 - ・データ種別、提供年月日毎の提供状況表示機能
 - ・取得対象ファイルの一覧表示機能
- ・速報データ
 - ・データ取得機能
 - ・データ表示機能

1.2 前提事項

Data Lab. データ検証ツールを使用するにはあらかじめJV-Link をインストールし、Data Lab. サービスの利用キーを設定しておく必要があります。もしお使いのPCにJV-Link がインストールされていない場合、JV-Link のインストールを済ませてから以降の手順に進んでください。

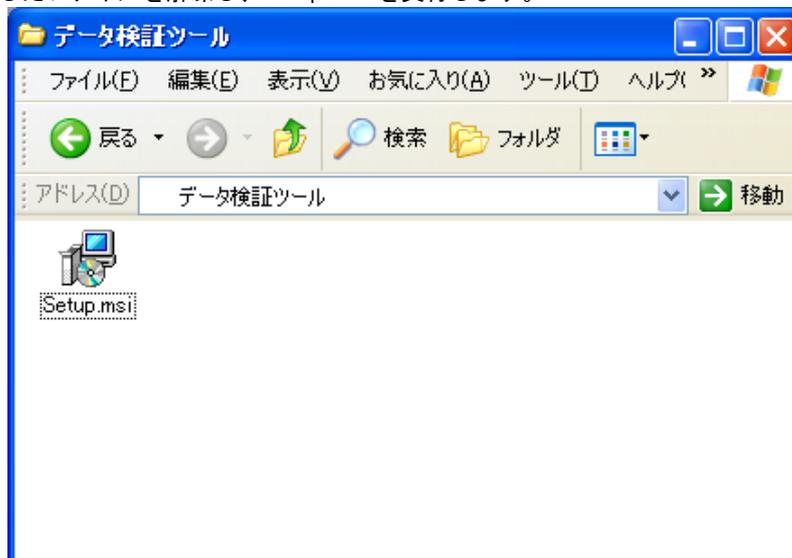
JV-Link の入手と利用キーの申込みは JRA-VAN Data Lab. のページより行うことができます。

<JRA-VAN Data Lab. ホームページ>

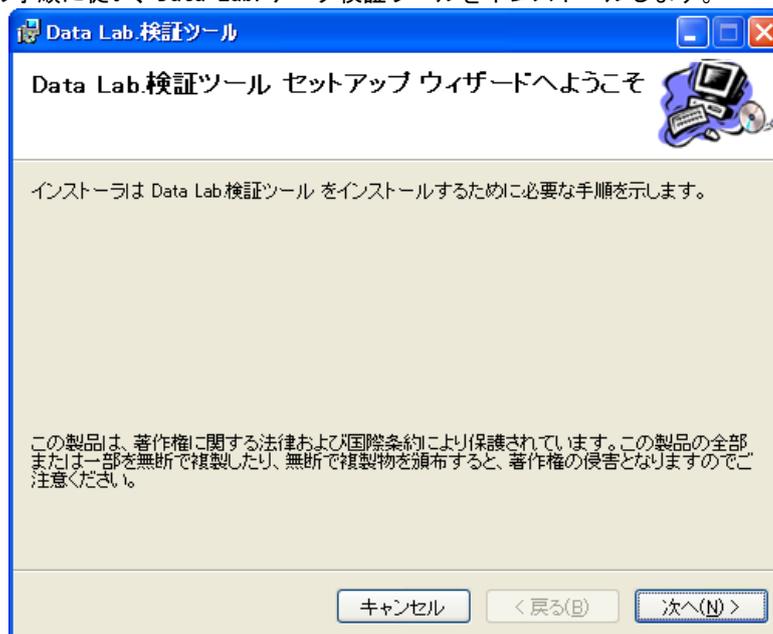
<http://jra-van.jp/dlb/index.html>

2 インストール手順

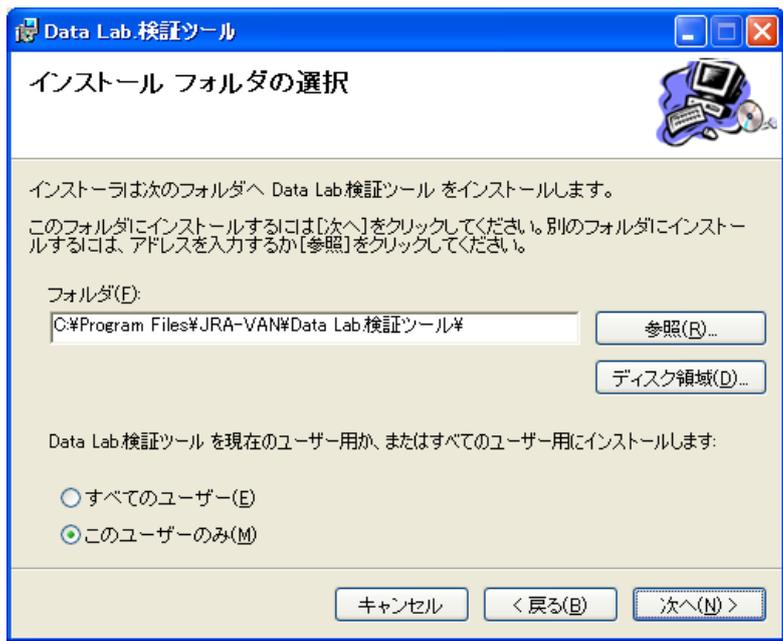
- (1) ダウンロードしたファイルを解凍し、Setup.msi を実行します。



- (2) インストーラの手順に従い、Data Lab. データ検証ツールをインストールします。



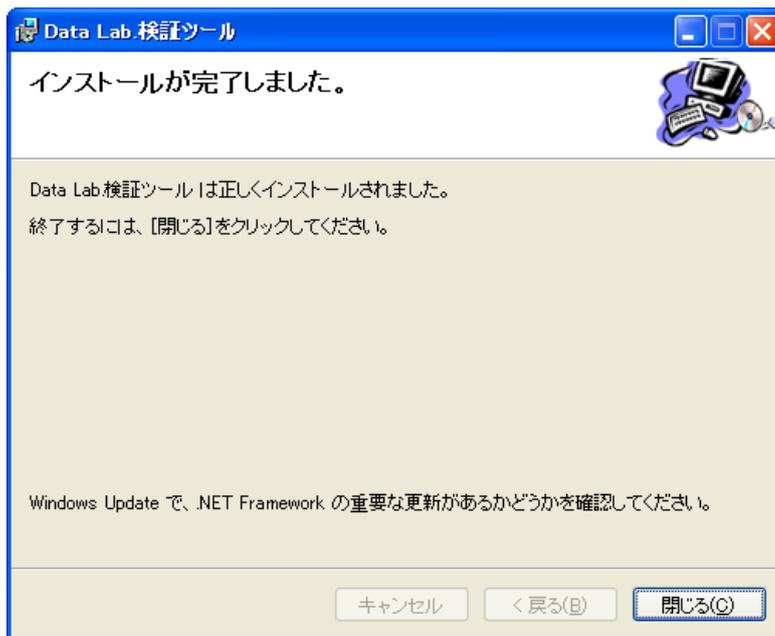
「次へ」を選択します。



インストール先のフォルダを確認し、「次へ」を選択します。



「次へ」を選択します。



正しくインストールされたなら、「閉じる」を選択し、インストーラを終了させます。

以上で Data Lab. データ検証ツールが正しくインストールされました。

なお、アンインストールをする場合には[コントロールパネル]→[アプリケーションの追加と削除]より Data Lab. データ検証ツールをアンインストールしてください。

3 操作手順

Data Lab. データ検証ツールの操作手順について説明します。

3.1 Data Lab. データ検証ツールの起動

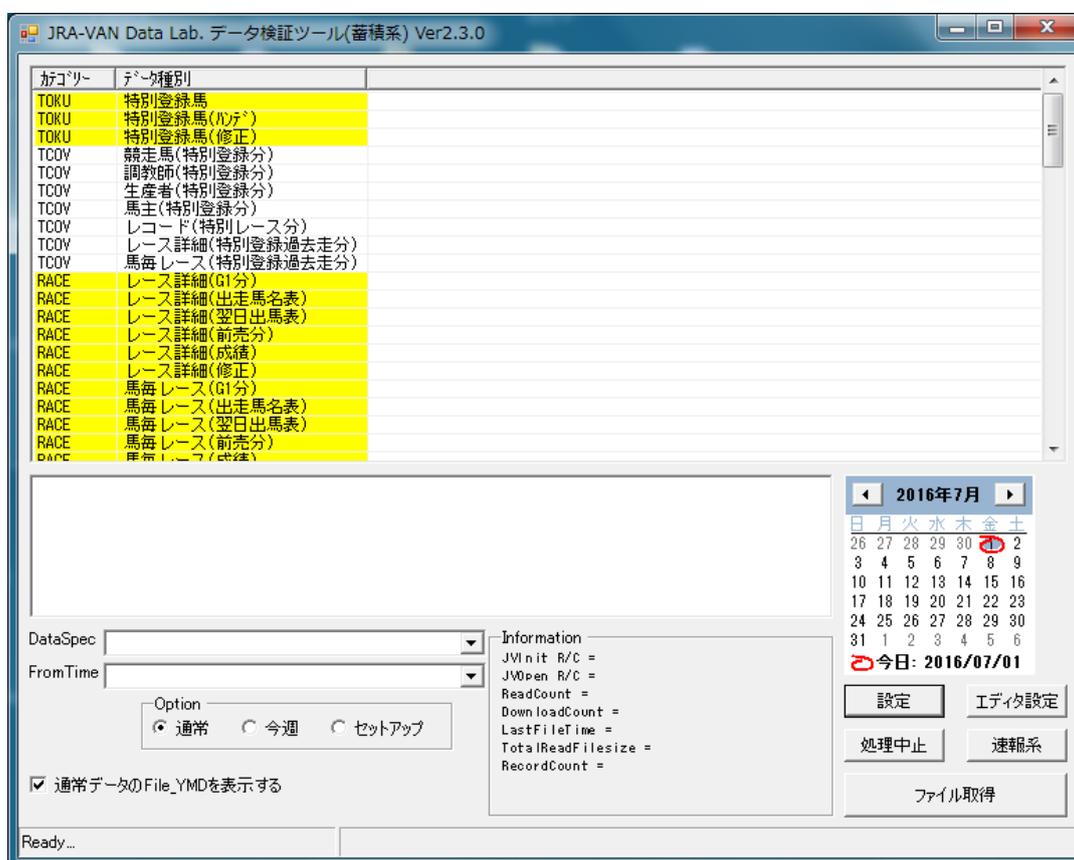
Data Lab. データ検証ツールを起動します。

[スタート]メニューから

[プログラム] → [DataLab 検証ツール]

を選択し、起動します。

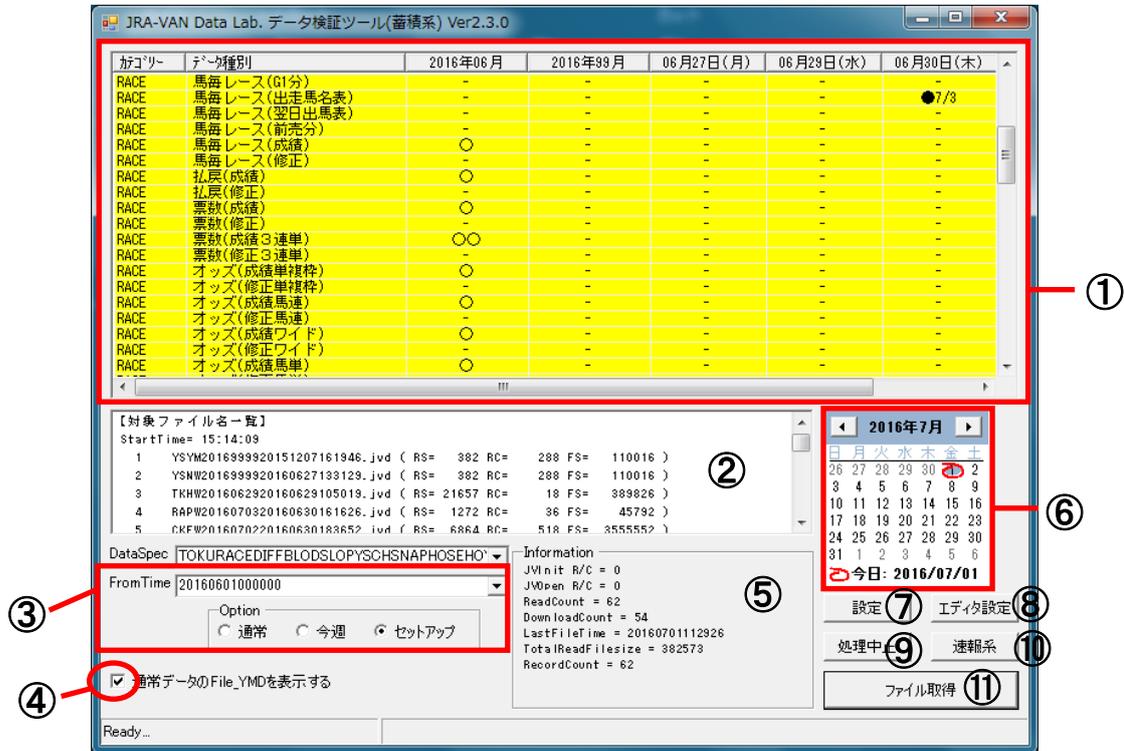
Data Lab. データ検証ツールが起動すると次の画面が表示されます。



3.2 画面説明

ここではData Lab. データ検証ツールの画面についての説明をします。

3.2.1 蓄積系データ取得画面



①：データ提供状況をデータ種別、提供年月日毎に表示します。

セットアップデータは○で表示されます。

通常データは●で表示されます。

②：対象ファイル一覧

指定したDataSpec、FromTime、Optionで取得したファイルの一覧と、以下の情報を表示します。

- ・ファイル取得処理の開始・終了時刻
- ・各ファイルのRecordSet (RS)、RecordCount (RC)、FileSize (FS)

③：DataSpec、FromTime、Option

JVOpenのパラメータを指定します。

④ : File_YMD表示切替

チェック状態でファイルを取得すると、通常データ●の横にファイル識別日付が表示されます。

⑤ : Information

データ取得時に以下の各詳細情報が表示されます。

- ・ JVInit の戻り値
- ・ JVOpen の戻り値
- ・ ReadCount
- ・ DownloadCount
- ・ LastFileTime
- ・ TotalReadFilesize
- ・ RecordCount

⑥ : カレンダー

カレンダーで指定した日付が FromTime 欄に反映されます。

⑦ : 設定

JV-Link 設定ダイアログが表示されます。

⑧ : エディタ設定

エディタ設定ダイアログを表示します。

任意のエディタを設定することで JV-Data をエディタで表示することが出来ます。

⑨ : 処理中止

各種操作の処理を中止することが出来ます。

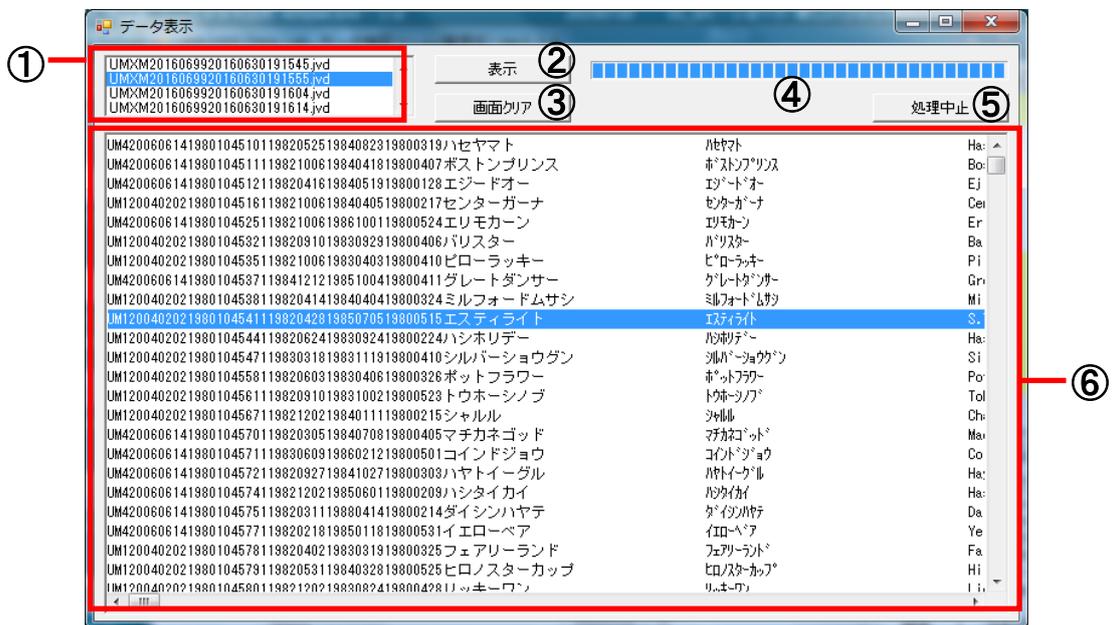
⑩ : 速報系

速報系データ表示画面を表示します。

⑪ : ファイル取得

指定した DataSpec、FromTime、Option でファイル取得要求を行います。

蓄積系データ表示画面



①：取得したデータのファイル名を表示します。

表示を行うファイルを選択してください。

ファイル名の仕様については、JV-Data仕様書を参照してください。

②：表示

ファイルを選択した状態で表示ボタンを押下すると蓄積系データを表示します。

③：表示クリア

データ表示欄をクリアします。

④：プログレスバー

処理の経過を表示します。

⑤：処理中止

現在行っている処理を中止します。

⑥：データ表示

選択したファイルのデータを表示します。

3.2.2 速報系データ表示画面



①：開催日単位で提供される速報データを取得します。

Keyとして年月日をYYYYMMDDの形式で指定し、取得を行うデータ種別のボタンを押下します。

開催日単位で提供される速報データは以下の通りです。

- ・レース情報(成績確定後) ・レース情報(出走馬名表～) ・開催情報 ・馬体重
- ・タイム型マイニング ・対戦型マイニング ・重勝式

②：レース単位で提供される速報データを取得します。

Keyとして年月日場レースをYYYYMMDDJJRRの形式で指定し、取得を行うデータ種別のボタンを押下します。

レース単位で提供される速報データは以下の通りです。

- ・レース情報(成績確定後) ・レース情報(出走馬名表～) ・馬体重 ・タイム型マイニング
- ・対戦型マイニング ・オッズ(全賭式) ・オッズ(単複枠) ・オッズ(馬連)

- ・ オッズ(ワイド)
- ・ オッズ(馬単)
- ・ オッズ(3連複)
- ・ オッズ(3連単)
- ・ 票数(全賭式)
- ・ 時系列オッズ(単複枠)
- ・ 時系列オッズ(馬連)

年月日場レースをYYYYMMDDJJKKHRRR または YYYYMMDDJJRRRの形式で指定し擬似通知（払戻）ボタンを押下すると、払戻確定を通知するためのファイルが作成されます。また、擬似通知（馬体重）ボタンを押下すると、馬体重発表を通知するための通知ファイルが作成されます。⑫の「イベントを通知する」チェックボックスにチェックを入れた場合、擬似的に払戻確定・馬体重発表イベントを通知するメッセージボックスが表示されます。

③：カレンダー

カレンダーで指定した日付が各Key欄に反映されます。

④：エディタで開く

チェック状態で各データ取得ボタンを押下すると任意のエディタで速報データを表示することが出来ます。

⑤：データ表示

速報データ取得時のDataSpec、Keyを表示します。

[エディタで開く]が未チェック状態の場合、取得した速報データが続いて表示されます。

⑥：表示クリア

データ表示欄をクリアします。

⑦：閉じる

速報データ表示画面を閉じます。

⑧：JRA レーシングビューア連携機能を利用します。

Keyとして年月日場レースをYYYYMMDDJJRRRの形式で指定し、機能ボタンを押下します。

利用することのできる機能は以下の通りです。

- ・ レース映像公開チェック
- ・ レース映像再生

動画種類を指定することで以下機能についても利用することが出来ます。

- ・ パドック映像公開チェック
- ・ パドック映像再生
- ・ マルチカメラ映像公開チェック
- ・ マルチカメラ映像再生
- ・ パトロール映像公開チェック
- ・ パトロール映像再生

※動画種類の値については、JV-Link インタフェース仕様書をご参照ください。

⑨：勝負服画像作成

指定した服色標示から、勝負服画像を作成します。

勝負服確認ボタンを押下すると勝負服画像が表示されます。

ファイルパスを指定し、ファイル出力ボタンを押下すると勝負服画像ファイルが作成されます。

ファイルパスは、「ファイルパス¥ファイル名」の形式で指定します。

⑩：調教動画

JRA レーシングビューアーの重賞調教映像の連携機能を利用します。

動画種類、開催年月日を指定しリスト取得ボタンを押すと、指定開催週の公開調教動画が一覧表示されます。

調教動画一覧から再生する対象情報を選択し動画再生ボタンを押すと、指定の調教動画が再生されます。

※動画種類の値については、JV-Link インタフェース仕様書をご参照ください。

⑪：コース図

指定されたレースのコース図を取得します。

Key として年月日場距離トラックコードを YYYYMMDDJJKKKKTT の形式で指定し、コース図確認ボタンを押下するとコース図、ファイルパス、コース説明が別ダイアログで表示されます。

ファイルパスを指定し、ファイル出力ボタンを押下するとコース図ファイルが作成されます。

ファイルパスは、「ファイルパス¥ファイル名」の形式で指定します。

⑫：変更情報

レース開催日に発表された変更情報の取得 および イベント擬似通知ファイル作成を行います。

カレンダーで指定した日付が年月日欄に反映されます。その状態でパラメータ取得ボタンを押下すると年月日欄に反映した日付を元に、その日発表された変更情報一覧が別ダイアログで表示されます。

取得できる変更情報は以下の通りです。

- ・ 騎手変更情報
- ・ 出走取消・競走除外情報
- ・ 天候馬場状態変更情報
- ・ 発走時刻変更情報
- ・ コース変更情報

一覧より変更情報を選択すると、パラメータ欄に変更情報の詳細を取得する為のパラメータが反映されます。

変更情報取得ボタンを押下すると一覧にて選択した変更情報の詳細データが表示されます。

擬似通知ファイル作成ボタンを押下すると一覧にて選択した変更情報の発生通知ファイルを作成します。

速報系データ表示画面の起動時にディレクトリの監視を開始し、このファイルが存在することで、擬似的に変更情報を発生させます。

「イベントを通知する」チェックボックスにチェックを入れた場合、発生した変更情報を通知するメッセージボックスが表示されます。

速報系ダイアログを閉じると、イベントの監視も終了します。

3.3 蓄積系データの取得

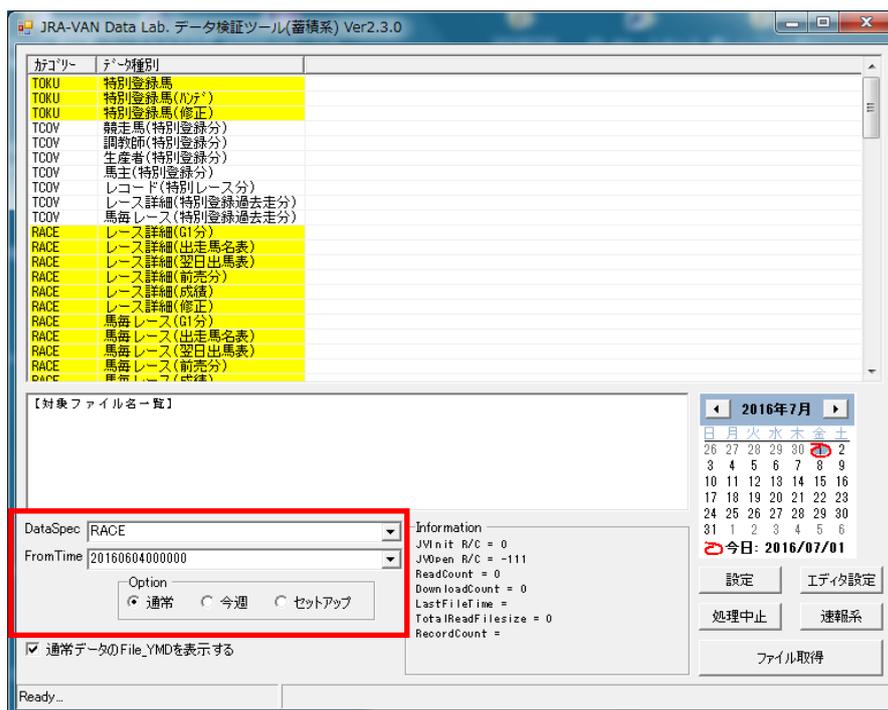
実際にデータを取得する手順を説明します。

Data Lab. データ検証ツールで蓄積系データを取得する手順は以下の通りです。

1. 取得を行うデータの DataSpec、FromTime、Option を指定
2. ファイル取得ボタン押下

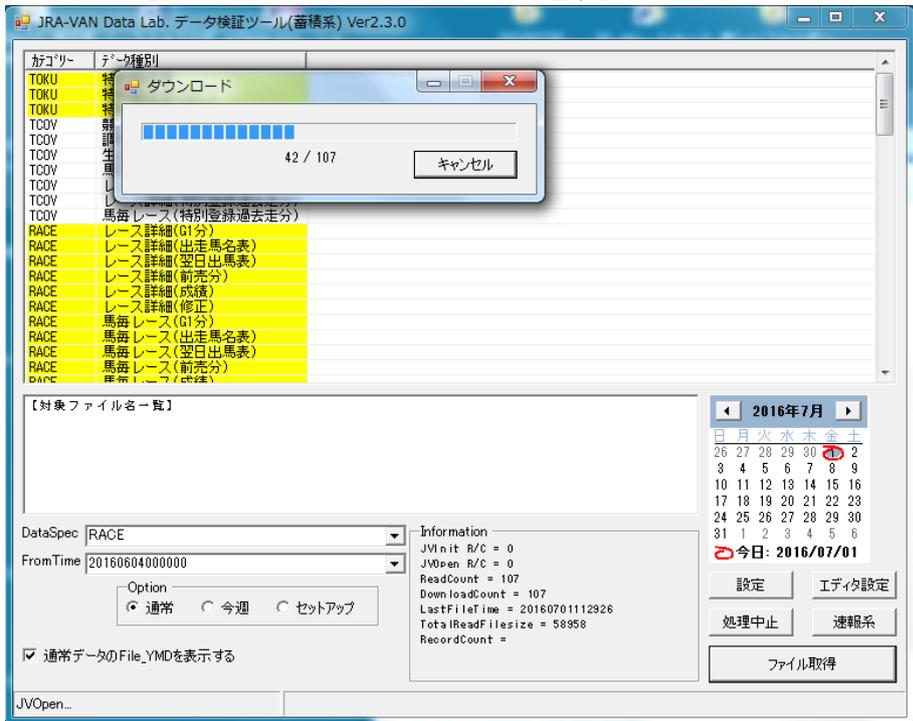
下記の例では 2016 年 6 月 4 日のレース詳細データを取得しています。

- (1) レース詳細 (RA) が含まれる DataSpec "RACE" を入力(※)
- (2) 2016 年 6 月 4 日以降のデータを取得すれば上記のデータが取得できるはずなので、
FromTime に "20160604000000" を入力
- (3) "今週"データ取得処理では取れないレースなので Option は "通常" を選択

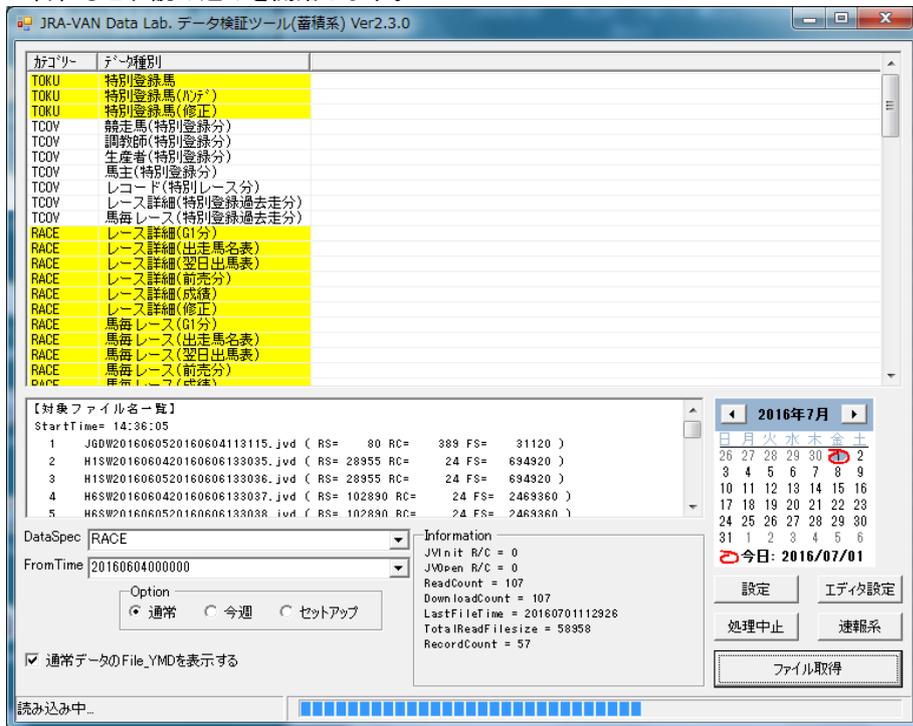


(4) ファイル取得ボタンを押下すると、指定したデータがダウンロードされます。

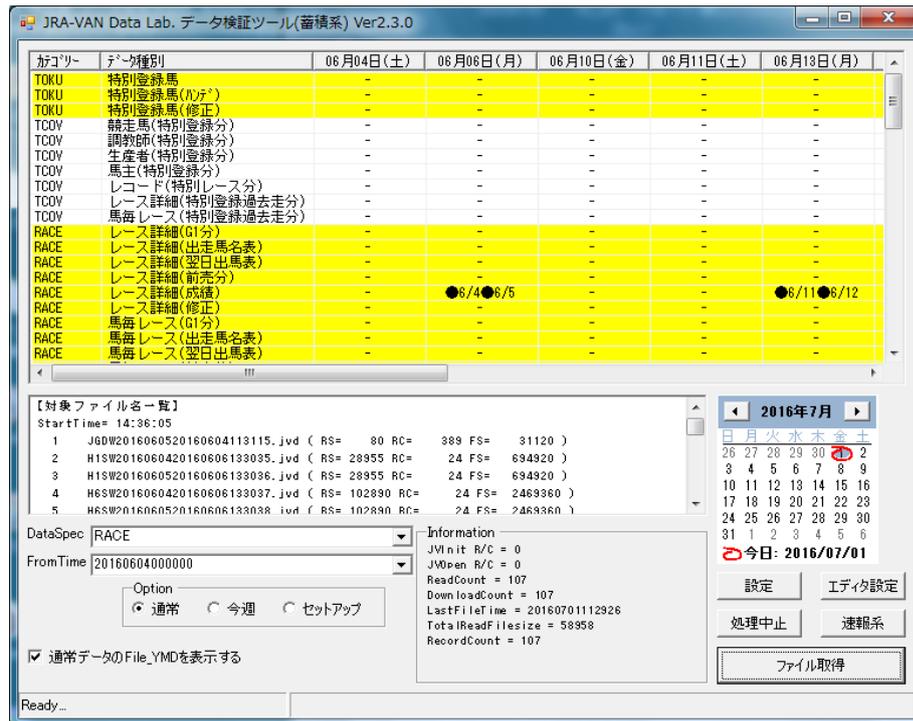
(既に取得済でキャッシュされているファイルのダウンロードは行われません)



(5) ダウンロードが終わると、読み込みを開始します。



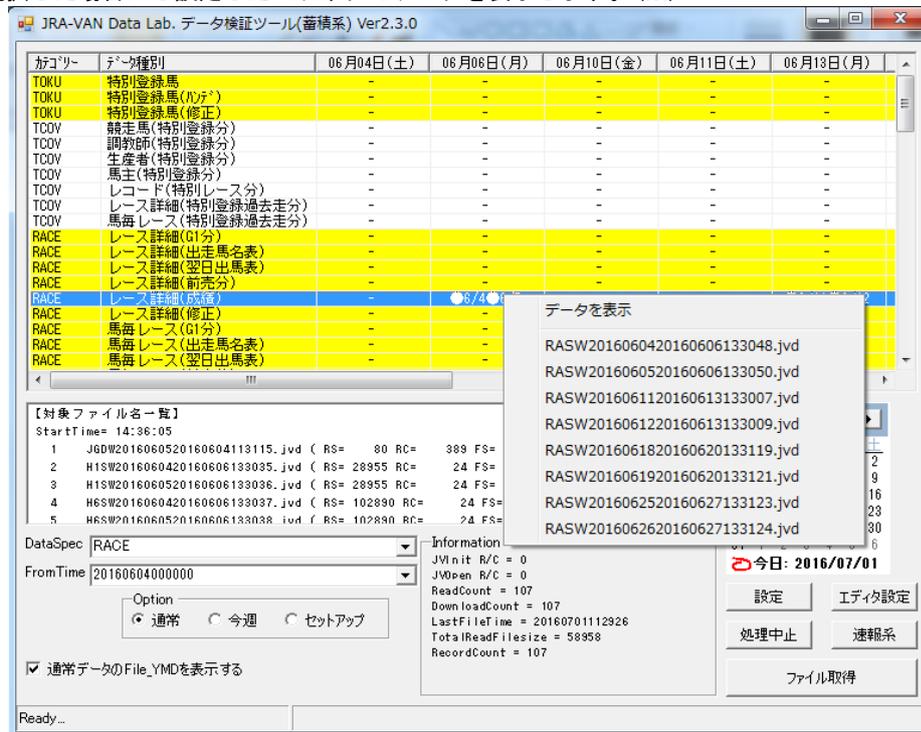
(6) 読み込みが終了すると、取得したデータが一覧で表示されます。



(7) 表示を行うデータ種別の行を選択し右クリックにてファイルリストを表示させます。

[データを表示]、またはファイルリストより該当ファイルを選択します。

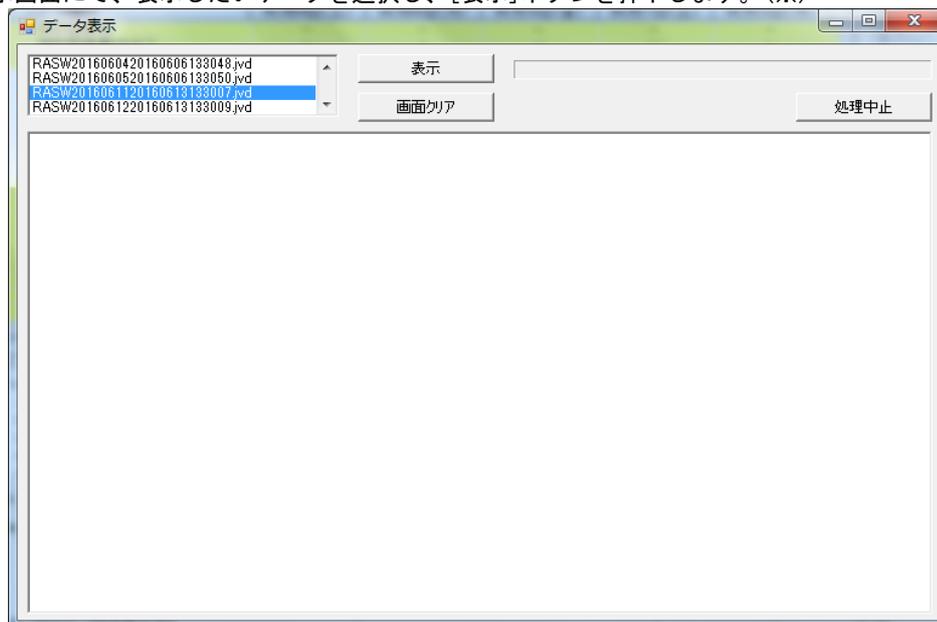
ファイル名を選択した場合には設定したエディタでデータを表示します。(※)



この例では[データを表示]を選択します。

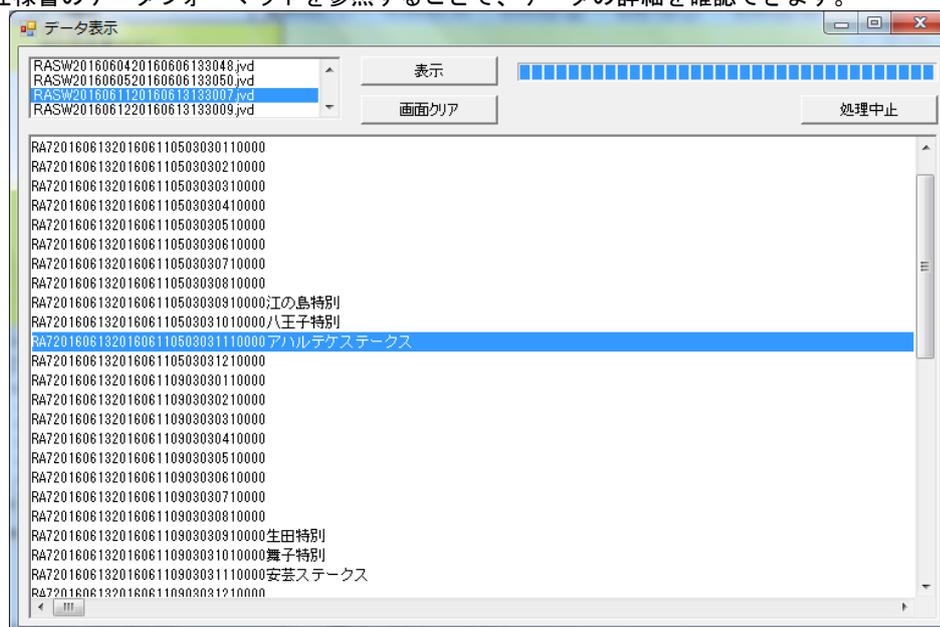
エディタで表示する場合は 3.5 [エディタの利用] を参照してください。

(8) データ表示画面にて、表示したいデータを選択し、[表示]ボタンを押下します。(※)



(9) ファイル内のデータが表示されます。

JV-Data 仕様書のデータフォーマットを参照することで、データの詳細を確認できます。



(※) ファイル名の仕様については、蓄積系提供データ一覧を参照してください。

3.4 速報系データの取得

Data Lab. データ検証ツールで速報系データを取得する手順は以下の通りです。

1. [速報系]ボタンを押下し、速報系データ表示画面を呼び出す
2. 取得を行う速報データが取得できる Key を入力し、取得したいデータのボタンを押下する

速報系データには開催日単位に提供されるデータと、レース単位で提供されるデータの 2 種類があります。

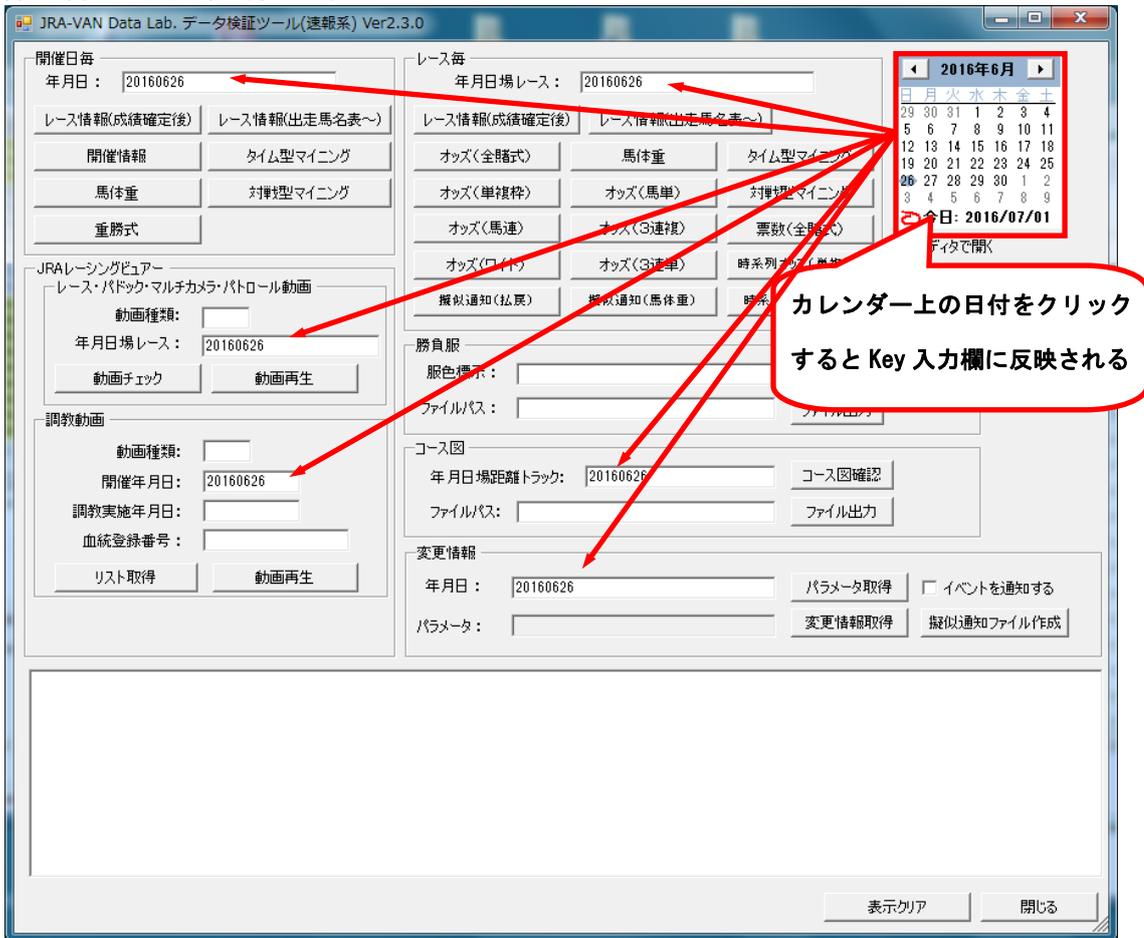
下記の例では速報レース情報(成績確定後)を取得する流れを説明します。

- (1)Data Lab. データ検証ツールを起動し、蓄積系データ取得画面の[速報系]ボタンを押下、

速報系データ表示画面を呼び出す

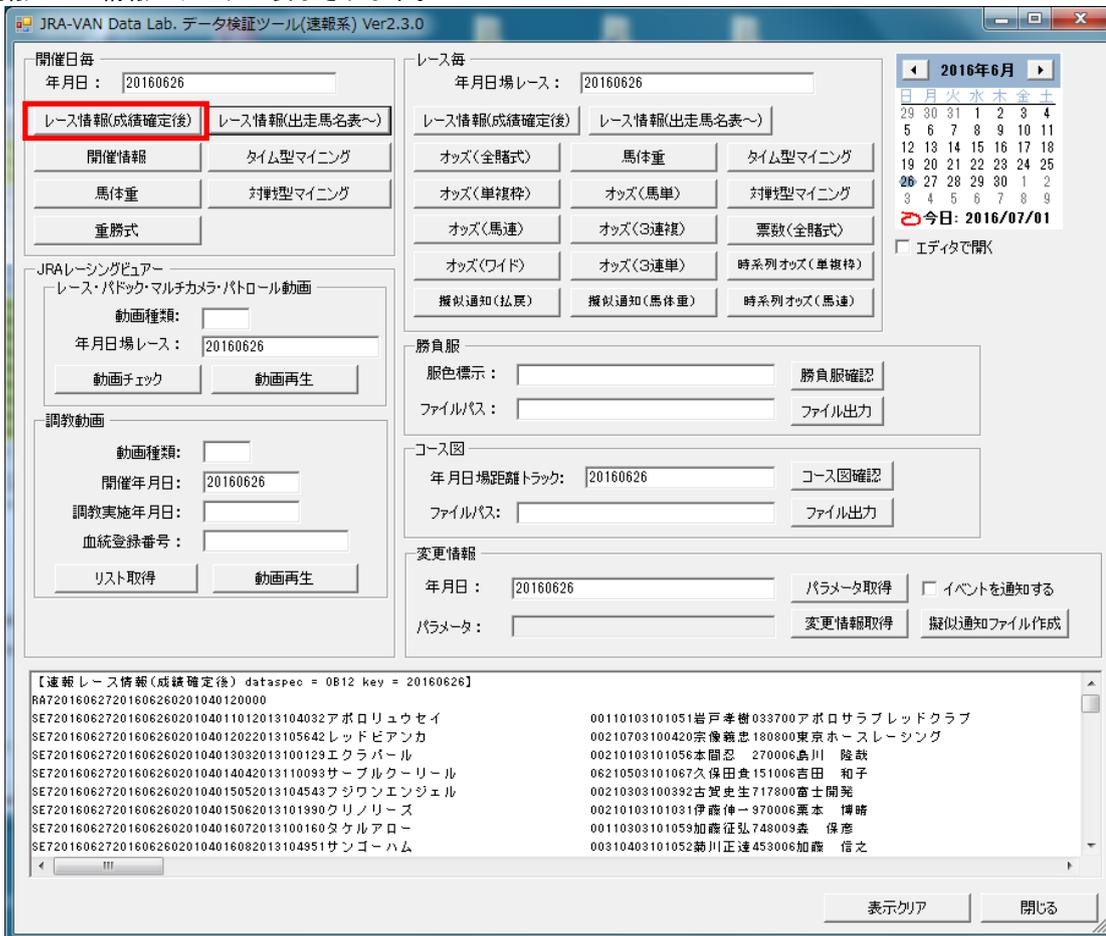


- (2) 時系列オッズを除く速報データの提供期間は1週間なので、直近の開催日をカレンダー上で指定
 (今回の例では2016年6月26日)



(3) [レース情報(成績確定後)]ボタンを押下

(4) 速報レース情報のデータが表示されます。



【補足1】調教動画のリスト取得及び動画再生について説明いたします。

調教動画のリスト取得、動画再生の手順は以下の通りです。

① 上記(1)、(2)と同様の手順で、開催年月日を指定します。

The screenshot shows the JRA-VAN Data Lab. Data Verification Tool (Ver2.3.0) interface. The '開催日毎' (Daily Race) section has '年月日' (Date) set to '20160626'. The '調教動画' (Training Video) section has '開催年月日' (Race Date) highlighted with a red box, also set to '20160626'. The 'レース毎' (Per Race) section has '年月日場レース' (Date/Track/Race) set to '20160626'. A calendar on the right shows the current date as '2016/07/01'.

② 動画種類に値を入力し(例では 11)、[リスト取得]ボタンを押下

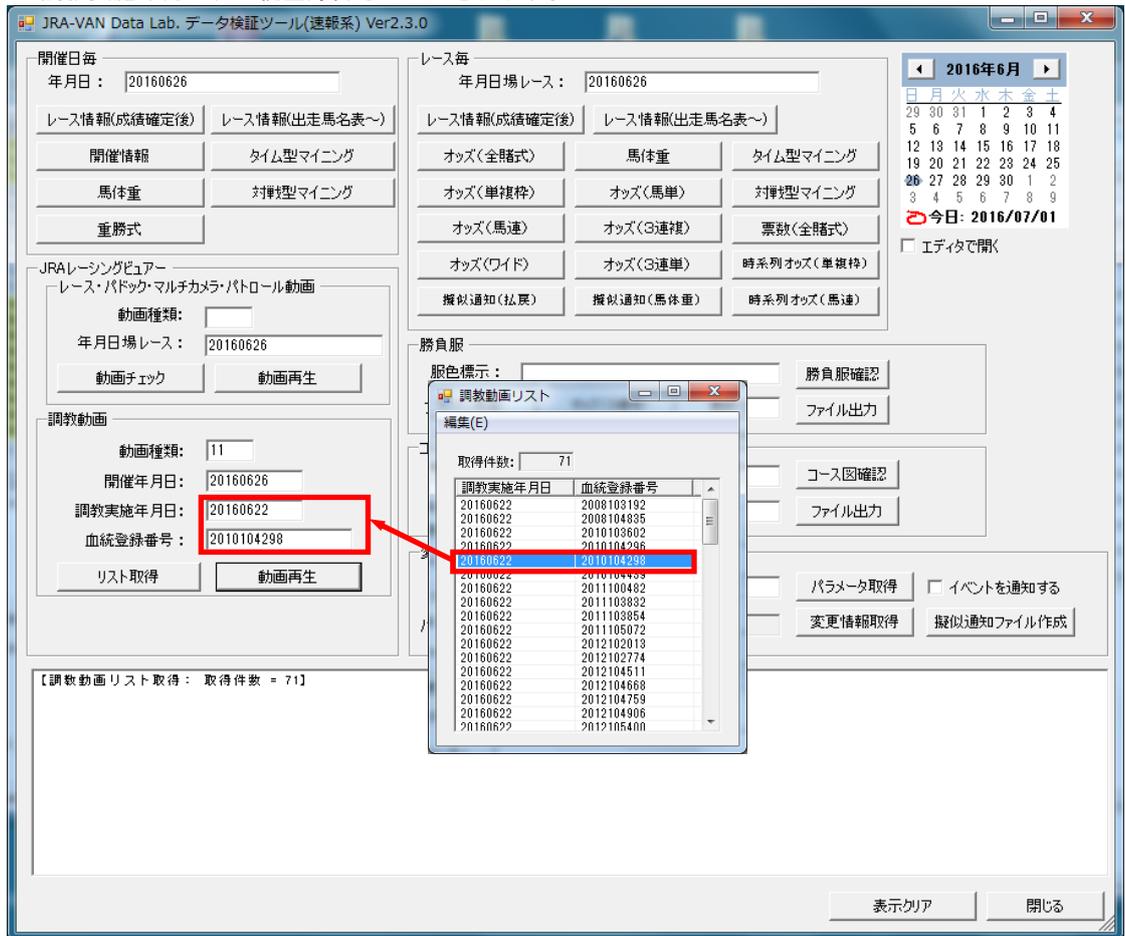
※動画種類の値については、JV-Link インタフェース仕様書をご参照ください。

The screenshot shows the JRA-VAN Data Lab. Data Verification Tool (Ver2.3.0) interface. The window title is "JRA-VAN Data Lab. データ検証ツール(速報系) Ver2.3.0". The interface is divided into several sections:

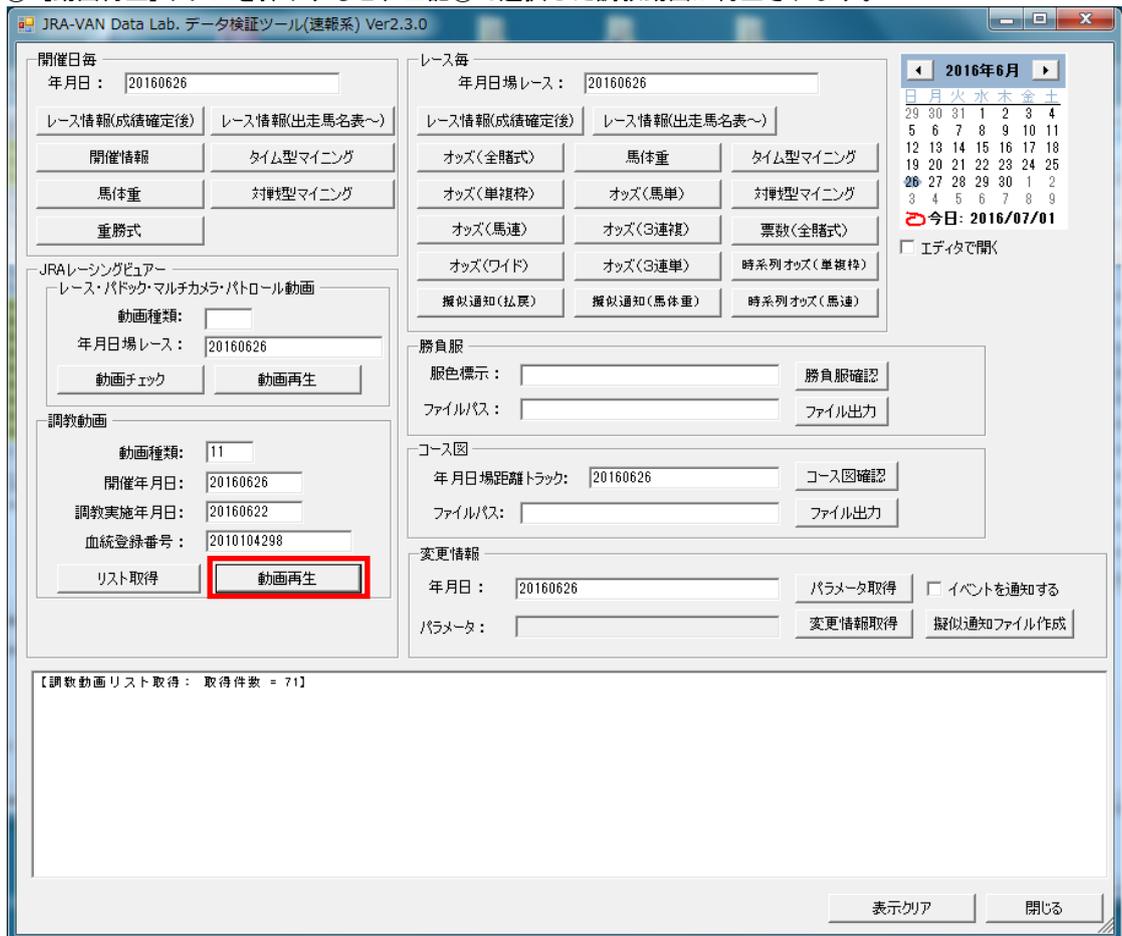
- 開催日毎 (Race Date):** Includes fields for "年月日" (Date) set to "20160626" and buttons for "レース情報(成績確定後)" and "レース情報(出走馬名表〜)". Below these are buttons for "開催情報", "タイム型マイニング", "馬体重", "対戦型マイニング", and "重勝式".
- レース毎 (Race):** Includes fields for "年月日場レース" (Date/Track Race) set to "20160626" and buttons for "レース情報(成績確定後)" and "レース情報(出走馬名表〜)". Below these are buttons for "オッズ(全賭式)", "馬体重", "タイム型マイニング", "オッズ(単複枠)", "オッズ(馬単)", "対戦型マイニング", "オッズ(馬連)", "オッズ(3連複)", "票数(全賭式)", "オッズ(ワイド)", "オッズ(3連単)", "時系列オッズ(単複枠)", "擬似通知(拡張)", "擬似通知(馬体重)", and "時系列オッズ(馬連)".
- JRAレーシングビューアー (JRA Racing Viewer):** Includes a "レース・パドック・マルチカメラ・パトロール動画" section with "動画種類" (Video Type) field, "年月日場レース" (Date/Track Race) set to "20160626", and buttons for "動画チェック" and "動画再生".
- 調教動画 (Training Video):** Includes "動画種類" (Video Type) field, "開催年月日" (Race Date) set to "20160626", "調教実施年月日" (Training Date), "血統登録番号" (Bloodstock Registration Number), and buttons for "リスト取得" (List Acquisition) and "動画再生". The "リスト取得" button is highlighted with a red box.
- 勝負服 (Saddle Cloth):** Includes "服色標示" (Saddle Cloth Marking) and "ファイルパス" (File Path) fields, with buttons for "勝負服確認" and "ファイル出力".
- コース図 (Course Map):** Includes "年月日場距離トラック" (Date/Track Distance/Track) set to "20160626" and "ファイルパス" (File Path) fields, with buttons for "コース図確認" and "ファイル出力".
- 変更情報 (Change Information):** Includes "年月日" (Date) set to "20160626" and "パラメータ" (Parameter) fields, with buttons for "パラメータ取得", "変更情報取得", "イベントを通知する", and "擬似通知ファイル作成".

At the bottom right, there are buttons for "表示クリア" (Clear Display) and "閉じる" (Close).

- ③ 調教動画リストが表示されますので、任意のデータを選択することにより、自動的に調教実施年月日、血統登録番号が入力されます。



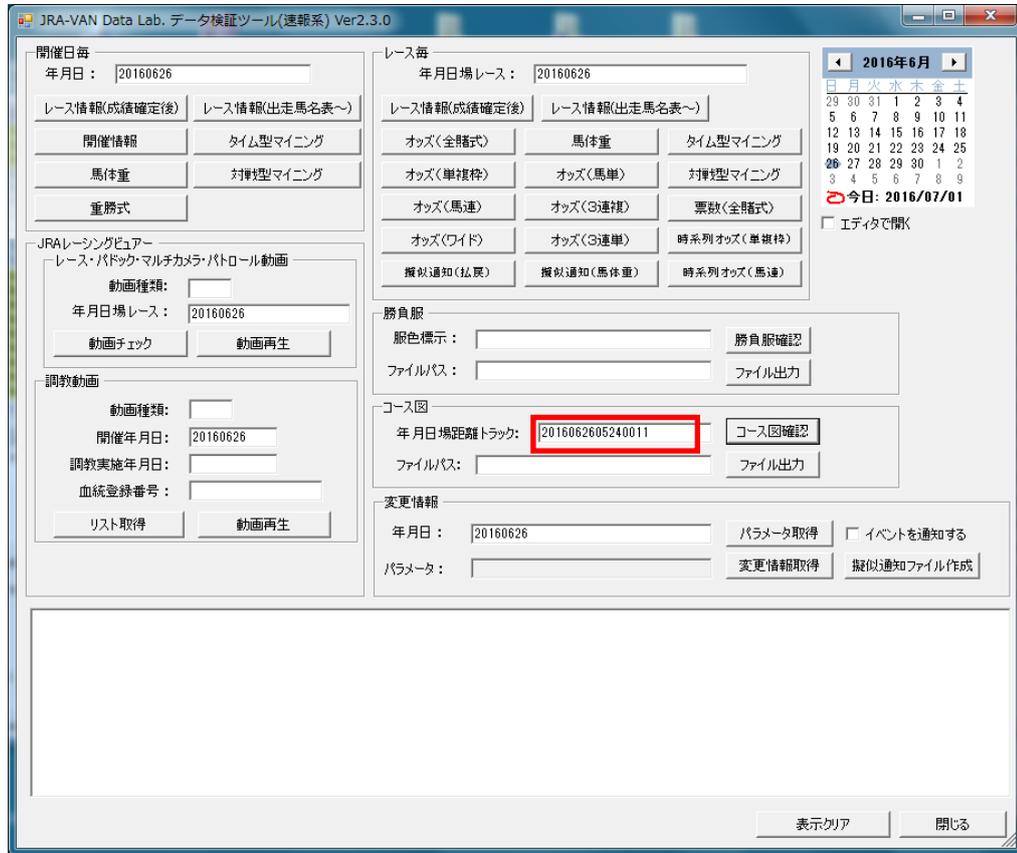
④ [動画再生] ボタンを押下すると、上記③で選択した調教動画が再生されます。



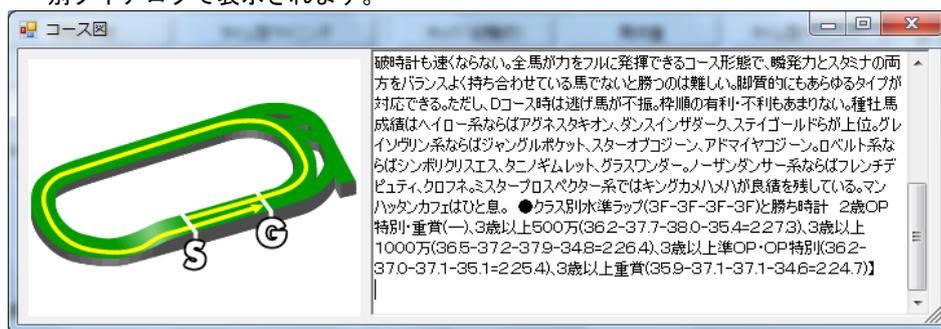
【補足2】コース図確認について説明いたします。

コース図確認機能の動作は以下の通りです。

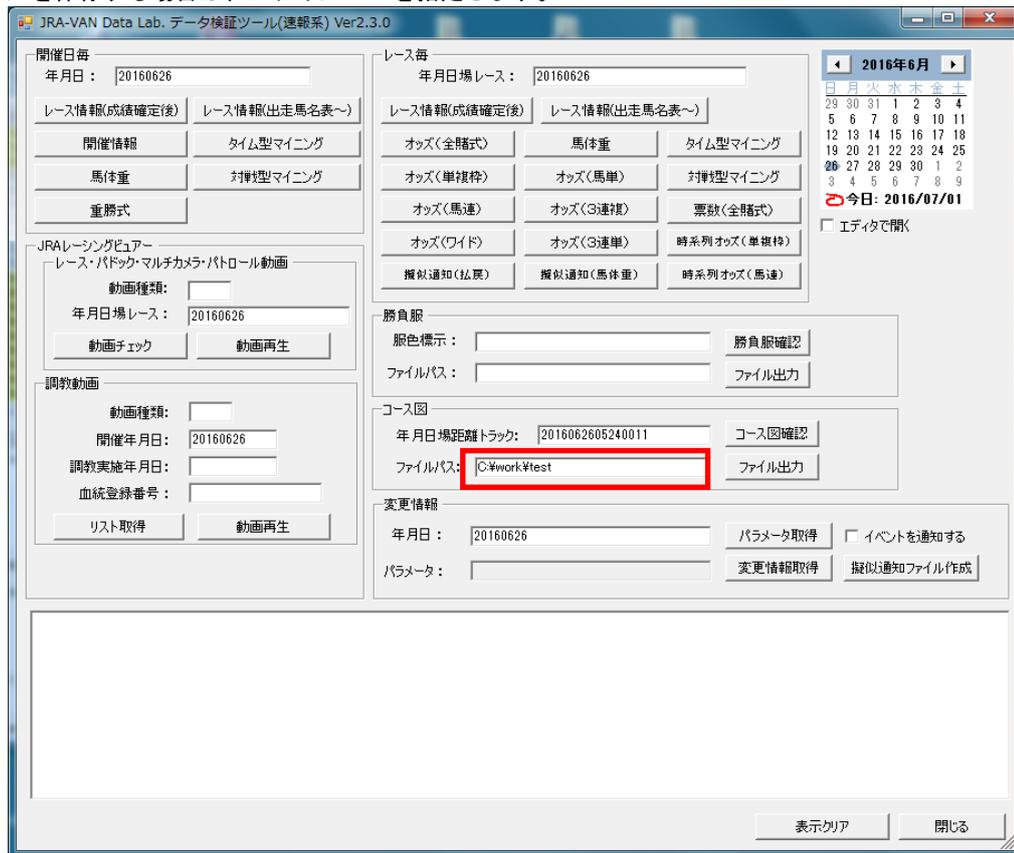
① 年月日場距離トラックコードを指定します。



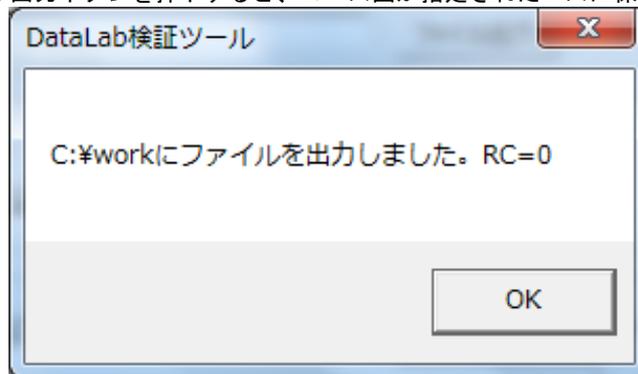
② コース図確認ボタンを押下すると、コース図、ファイルパス、コース説明が別ダイアログで表示されます。



③ ファイルを保存する場合は、ファイルパスを指定します。



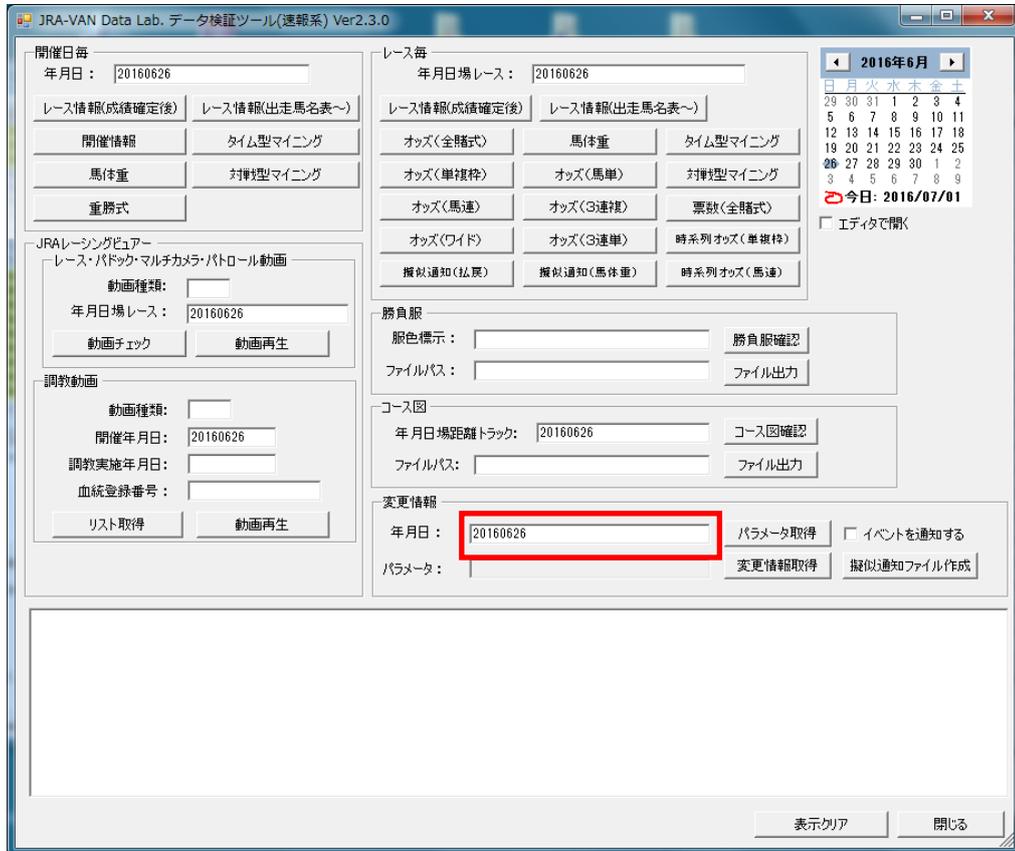
④ ファイル出力ボタンを押下すると、コース図が指定されたパスに保存されます。



【補足3】変更情報の取得 および 擬似通知について説明いたします。

変更情報取得・擬似通知の動作は以下の通りです。

①年月日を指定します。

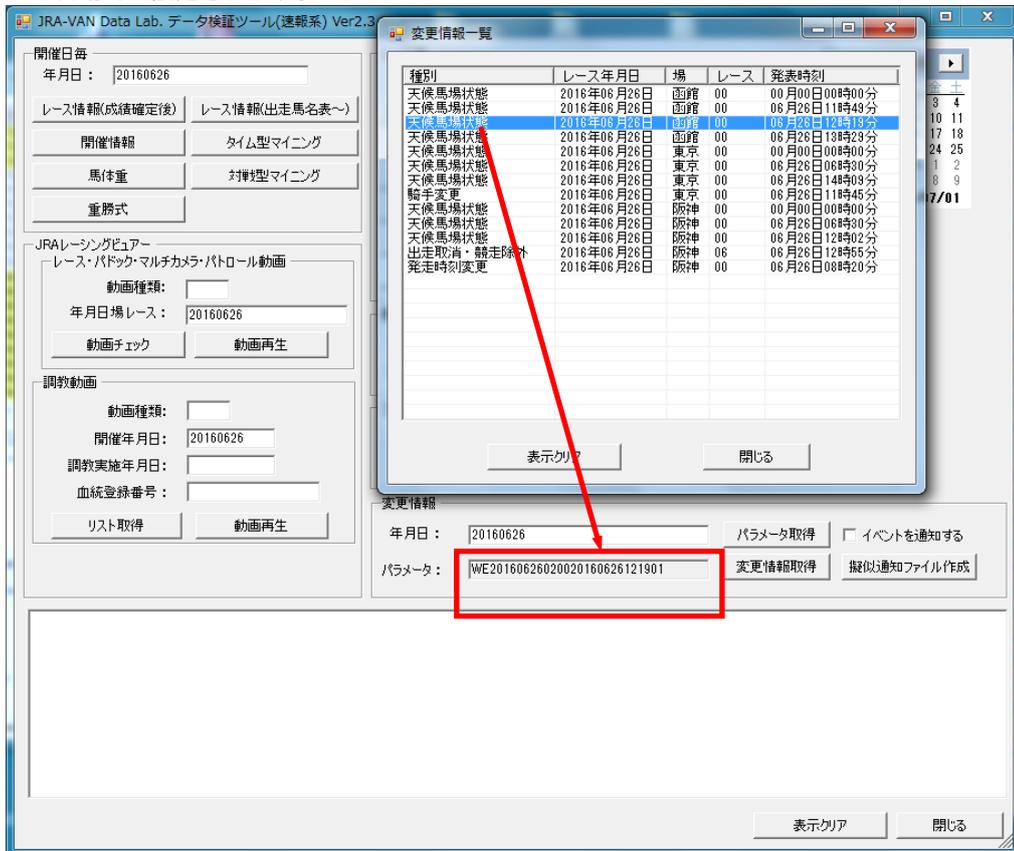


②パラメータ取得ボタンを押下すると、指定した日付に発表された変更情報一覧が別ダイアログで表示されます。

変更情報一覧

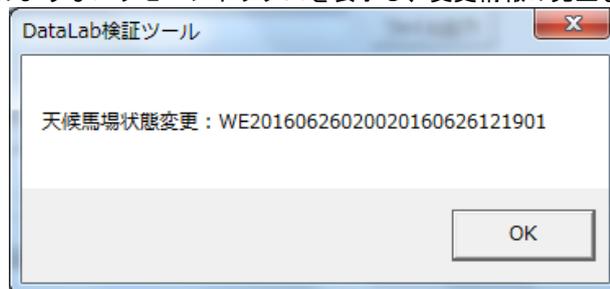
種別	レース年月日	場	レース	発表時刻
天候馬場状態	2016年06月26日	函館	00	00月00日00時00分
天候馬場状態	2016年06月26日	函館	00	06月26日11時49分
天候馬場状態	2016年06月26日	函館	00	06月26日12時19分
天候馬場状態	2016年06月26日	函館	00	06月26日13時23分
天候馬場状態	2016年06月26日	東京	00	00月00日00時00分
天候馬場状態	2016年06月26日	東京	00	06月26日06時30分
天候馬場状態	2016年06月26日	東京	00	06月26日14時09分
騎手変更	2016年06月26日	東京	00	06月26日11時45分
天候馬場状態	2016年06月26日	阪神	00	00月00日00時00分
天候馬場状態	2016年06月26日	阪神	00	06月26日06時30分
天候馬場状態	2016年06月26日	阪神	00	06月26日12時02分
出走取消・競走除外	2016年06月26日	阪神	06	06月26日12時55分
発走時刻変更	2016年06月26日	阪神	00	06月26日08時20分

③変更情報一覧よりレコードを選択すると、その変更情報の詳細を取得する為のパラメータが自動的に設定されます。



この状態で変更情報取得ボタンを押下すると、パラメータを元に変更情報詳細データを取得し、表示します。

擬似通知ファイル作成ボタンを押下すると、変更情報発生通知のためのファイルを作成し、ファイルパスを表示します。この時、「イベントを通知する」チェックボックスにチェックを入れていると、以下のようなメッセージボックスを表示し、変更情報の発生を擬似的に通知します。



OK ボタンを押下すると、該当する変更情報の詳細データを取得し表示します

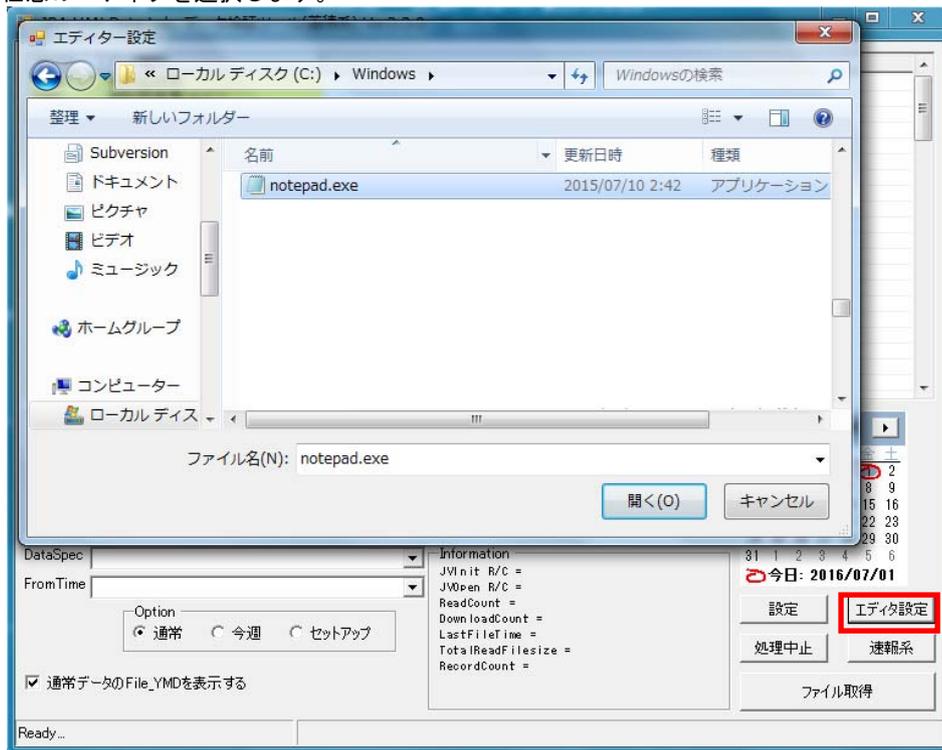
3.5 エディタの利用

Data Lab. データ検証ツールでは任意のエディタを指定し、データを表示させることができます。

3.5.1 エディタの設定

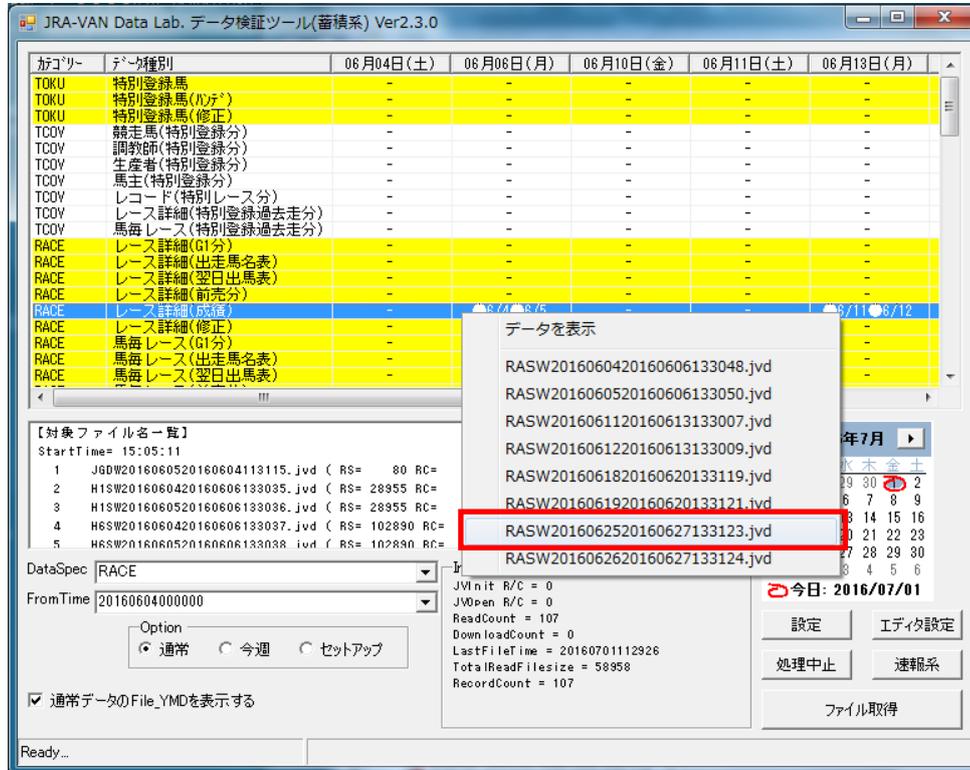
エディタを設定する手順は以下の通りです。

1. Data Lab. データ検証ツールを起動し、[エディタ設定]ボタンを押下します。
2. 任意のエディタを選択します。

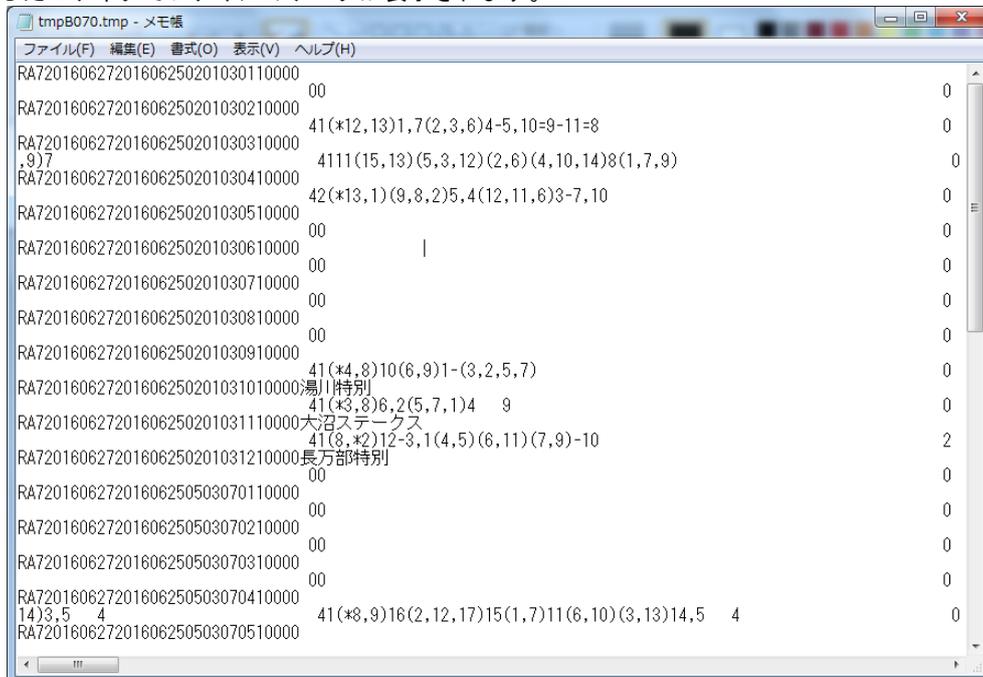


3.5.2 蓄積系データをエディタで表示する

蓄積系データを取得し、表示したいデータを一覧上で右クリックしてファイル名を選択した場合には、設定したエディタでファイルを開きます。



指定したエディタでファイルのデータが表示されます。



4 JV-Link および Data Lab. データ検証ツールの使用許諾について

お客様は、以下の条項に同意されない場合、JRA システムサービス株式会社は、お客様に本プログラムのインストール、使用または複製のいずれも許諾できません。

[総則]

本プログラムは、JRA システムサービス株式会社の提供する JRA-VAN サービスにおいて使用されるものとし、サービスを有料で利用する場合は「JRA-VAN 利用規約」の各条項が優先して適用されます。

[禁止事項]

JRA システムサービス株式会社は、本プログラムの使用にあたり以下の事項を禁止します。

本プログラムのリバースエンジニアリング等プログラムロジックを解析すること本プログラムとサーバ間のインターフェースを解析すること本プログラム以外から本プログラム専用サーバにアクセスすること本プログラムを複製すること本プログラムにより取得した情報を第三者に知らせること（インターネット上に公開することを含む）

[無保証]

JRA システムサービス株式会社は、本プログラムおよびサービスサポートに関して、いかなる保証も一切いたしません。本プログラムおよびサービスサポートの使用または機能から生じるすべての危険は、お客様が負担しなければなりません。

[免責事項]

JRA システムサービス株式会社は、本プログラムの使用もしくは使用不能、あるいはサーバからのデータ提供もしくは不提供から生じる損害（逸失利益、機密情報もしくはその他の情報の喪失、仕事の中断、人身傷害、プライバシーの喪失、信義則または合理的な注意義務を含めた義務の不履行または過失による、金銭的またはその他の損害を含み、かつこれらに限定されません）に関しては、一切責任を負いません。たとえ JRA システムサービス株式会社がこのような損害の可能性について知らされていた場合でも同様です。